

iDi info

季刊誌

2024
冬
WINTER
VOL.010

■iDiメッセージ

鴨井 久一 iDi 歯科医療情報推進機構 理事長
佐藤 明寿 iDi 歯科医療情報推進機構 理事

■2024年 新春座談会

本年の活動テーマの推進

～周術期の医科歯科連携の普及のために～

■国民皆歯科健診の実現に向けて

矢島 安朝 iDi 歯科医療情報推進機構 理事

■iDi認定歯科医師インタビュー

早川 輝 医療法人 輝 はやかわ歯科医院(山梨県)
六郷 純也 医療法人六明会 ろくごう歯科医院(埼玉県)

nanozilla

ナノ・ジューラ

これからの除菌作業は
もっとカンタンに



銀イオン
除菌液付き



噴射モードの場合



噴霧モードの場合



ドアノブ ユニット 白衣 など
接触頻度の高い部分を中心に
ワンポイント除菌&抗菌



待合室 診察室 トイレ など
置いておくだけで1部屋2～3時間
でミストが隅々まで行きわたる

99.9%^{※1}
除菌

24時間
抗菌

防カビ&
消臭

素材を傷めない

成分臭ゼロ

安全性検証試験済み

付属の専用除菌液は銀イオンを主成分として作られており、ナノ・ジューラと組み合わせることで効果を発揮します。細菌やウイルスに対し、99.9%^(※1)以上の高い除菌力を1日1回の噴霧で24時間持続するので作業の簡素化も実現します。

※全ての菌・ウイルスに効果があるわけではありません

※1 本結果は一定の条件下で行われた試験結果であり、使用状況により効果が異なる場合がございます。

nanozilla 専用液の持続性



スプレー前

1分後



1時間後

24時間後

Ag⁺



nanozilla スターターキット

専用銀イオン除菌液5L付き 24,200円(税込)

WEBから購入できます
詳しくはこちら ▶▶▶▶

nanozilla



〒869-1102
熊本県菊池郡菊陽町原水2849-1
商品に関するお問合せ: 096-342-1081

公式ホームページ: <https://pikasshu.jp/>



iDi 理事メッセージ



佐藤 明寿

Akitoshi Sato

南青山インプラント歯科 佐藤歯科医院 院長/代表
iDi 歯科医療情報推進機構 理事

ICOI 国際口腔インプラント学会 認定医、指導医、日本支部前副会長
フランスコマロキン大学歯学部 客員教授
ニューヨーク大学歯科大学 Linhart CDE Program 国際プログラムリーダー
南カリフォルニア大学歯学部 客員研究員、USCJプログラムアンバサダー
コロンビア大学歯学部 Implant CDE Program (Tarnow Institute member)
Ultimate Styles Dental Laboratory (代表: 林直樹 RDT) 提携ドクター

1993年 日本大学歯学部卒業
2002年 南青山インプラントセンター(現南青山インプラント歯科)開院
2010年 オリコンCS(顧客満足度)ランキング インプラント部門 2年連続総合1位
2013年 WBCワールドベースボールクラシックキューバ代表チームサポートドクター
2020年 東京オリンピック キューバ代表五輪ボクシングチーム 公式サポートドクター

～iDi理事就任のご挨拶～

この度、iDiの理事職を拝命いたしました佐藤明寿と申します。若輩者で大変恐縮ではございますが、微力ながら本会の発展のため頑張らせていただきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

私は日本大学歯学部を卒業後、河津寛先生(明海大学教授)のもとで7年間インプラントを学び、2002年に南青山で自費専門のインプラント・審美歯科のクリニックを開業し、現在に至ります。松本満茂先生とのご縁で10年程前から本会に参加させていただいておりますが、古い会員の皆様には「ガッチャマンの人」とご紹介した方がわかりやすいかもしれません(笑)。

iDiパーティーの余興などで「科学忍者隊ガッチャマンの歌」を歌ってからすっかりその名前(ガッチャマン)が定着しておりますが、私の本来の名前は「明寿」(あきとし)と申しまして、実は歌手の「三波春夫」さんが命名してくださいました。

これは私の生まれた1968年がちょうど明治100年になることから「明治のおめでたい(寿)年号」ということで、この名前になったとのこと。三波春夫さんは「お客様は神様です」が代名詞の、昭和を代表する国民的歌手として広く知られています。私の父(芸名: 佐藤川太)が当時テイチクレコード専属の作曲家で、三波さんの作曲、編曲をいくつか担当しており、プライベートではゴルフ友達でもあり、また母も元歌手で三波さんの前座で歌っていたご縁もあり、三波さんとは家族ぐるみで親しくさせていただいております。

父は三波さんの歌唱指導も行っていたので、子どもの頃に学校を終えて家に帰ると週3日くらいは三波さんが父のピアノで歌のレッスンをされていました。そしてレッスンの合間には、膝の上に乗せていただき、我が子のようにとても可愛がってくださいました。

私は幼少の頃から三波さんの歌を聴いて育ったようなもので、とても贅沢な環境だったと思います(それがまさかガッチャマンを歌うようになるとは……)。

三波さんは博学な紳士で普段からとても優しく、いろいろなことを教えてくださいましたが、今でも大切にしていることがあります。それは「スマイル」の重要性についてです。「普段から努めて鏡の前で口角を上げて笑顔の練習をしなさい。これは人生でとても大切なことですよ」と教わったことは今でも実践しており、患者さんにも教えています。

素敵な笑顔は人生を切り開く鍵となります。そして歯科医師という仕事柄、患者さんの「美しく素敵な笑顔」を作るお手伝いができることは大変嬉しいことであり、世界的な歯科技工士の林直樹氏とタッグを組んで患者さんの笑顔のために日々診療を頑張っております。歯科医業と宴会芸、共に精進してまいりますので、引き続きお付き合いのほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

iDi 理事長メッセージ



鴨井 久一

Kyuichi Kamoi

歯学博士、医学博士
iDi 歯科医療情報推進機構 理事長

1979年 日本歯科大学歯周病科教授
1995年 日本歯科大学付属病院長
2001年 日本歯科大学大学院長
2004年 日本歯周病学会理事長
2005年 日本歯科大学名誉教授
2006年 ウィーン大学再生医療研究所客員教授
2010年 カンテール歯科大学客員教授
2013年 瑞宝中級章受章

2023年を振り返って -温故知新-
「故きを温ねて新しきを知る、以って師と為るべし」(論語)

2023年はiDi創設20周年の節目にあたる年でした。現在、iDiは歯科医療の分野において、第三者機関という立場から機能評価や情報開示を行なう独自の存在として知られています。また、私どもの活動も多くの歯科医師から高く評価され、認められるようになったことは大きな喜びであります。

従来、歯科医療は個々の治療に焦点を当て、う蝕や歯周病、補綴義歯などの治療に終始して、一定の使命感や満足感を持ってきました。しかしながら、21世紀に入り、歯科医療の様相が大きく変わり、多様な変革が進行しています。

歯科治療の多様性は口腔内だけにとどまらず、全身の疾患との関連性に対するエビデンスが提示され、高齢化社会における人口動態の変化もあり、口腔内の処置内容も大きく変容してきました。

持続可能な歯科医療を実現するためには、口腔フレイルの予防や口腔ケアの持続性を考慮する必要があります。これには、医師や歯科医師だけでなく、看護師、介護士、歯科衛生士、歯科技工士など、多岐にわたる関係者の協力が求められており、医科歯科の連携がより重要な役割を担います。

口腔ケアは単なる清掃だけではなく、口腔内に介在する病原菌を抑制することで、呼吸器系の誤嚥性肺炎の予防、消化器系では腸内細菌にターゲットが当てられます。歯周病原細菌が大腸に生存し、「腸・脳相関」という視点が、最近では「口・腸・脳相関」といわれるようになり、腸内細菌叢が健康や疾患に大きく関与していることも話題となっています。また、歯周病原細菌がアルツハイマー型認知症に関与していることは、単に口腔だけの問題ではなく、全身の一部として位置づけられるとのエビデンスが示されています。やはり、今後の歯科医療では、口腔内の予防処置だけでなく、歯科医師自身が口腔と全身の関連性を理解することこそが、様々な疾患の予防につながるのです。

そして、医科歯科連携をさらに推し進めるには、医科・歯科共通の指標や検査方法の共有が必要です。2025年をめぐりに構築される地域包括ケアシステムの実施においても、医科からの意見を勘案し、歯科からは口腔関与マニュアルを作成し、お互いの齟齬をきたさぬよう、双方の調和を保ちながら連携を強化していくことが望まれます。

かつて、歯の代替手段としては少数の歯欠損には架橋義歯、多数の歯欠損には有床義歯が一般的でしたが、ブローネマルク教授の提唱した骨結合インプラント治療により、咀嚼機能や味覚の向上を通じてQOLの改善に寄与することが示されました。しかし、安全かつ安心なインプラント治療のための技術向上や情報提供には、まだまだ課題が残っています。iDiではインプラントセーフティーマーク(ISM)制度を発足させ、研修プログラムを提供していますが、その役割は非常に重要です。

iDiは、2024年も様々な研修会を実施すると共に、国民皆歯科健診など現在注目されているトピックに関する議論を通じ、積極的な提言を行ない、新しい時代に対応する歯科医療の活性化と発展に努めてまいります。皆さまのご支援を心よりお願い申し上げます。

国民皆歯科健診の実現に向けて

— iDiの活動と今後の展開 —

iDiでは国民皆歯科健診を実現するため様々な取り組みを行なっています。厚生労働省に対しても、早期に対応策を示すよう要望を続けている他、歯科医師や国民に向け、国民皆歯科健診の有用性や重要性をアピールしております。今後もiDiでは関係各所への提言や働きかけを続け、国民皆歯科健診の実現に向けて最大限努力してまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。



矢島 安朝

東京歯科大学名誉教授
iDi 歯科医療情報推進機構 理事

- 1980年 東京歯科大学卒業
- 1985年 東京歯科大学大学院歯学研究所(口腔外科学専攻)修了
- 1995年 ドイツ連邦共和国Hannover医科大学 口腔顎顔面外科学教室に留学
- 2006年 東京歯科大学千葉病院口腔インプラント科教授
- 2009年 東京歯科大学口腔インプラント学講座主任教授
- 2013年 東京歯科大学 水道橋病院 病院長
- 2019年 東京歯科大学大学院歯学研究所 研究科長
- 2021年 東京歯科大学 名誉教授
- 2021年 松本歯科大学口腔インプラントセンター教授、松本歯科大学病院長代行
- 2022年 松本歯科大学病院 病院長
- 2023年 松本歯科大学 銀座8丁目クリニック 院長

1 2023年 iDi 歯科医療情報推進機構の学会シンポジウムでの提言

2022年6月に「経済財政運営と改革の基本方針2022」(骨太の方針2022)が内閣府より公表された。その中で歯科に関係する部分は以下のように記載されている。

全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の集積と国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)の具体的な検討、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、歯科医療職間・医科歯科連携を始めとする関係職種間・関係機関間の連携、歯科衛生士・歯科技工士の人材確保、歯科技工を含む歯科領域におけるICTの活用を推進し、歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組む。また、市場価格に左右されない歯科用材料の導入を推進する。

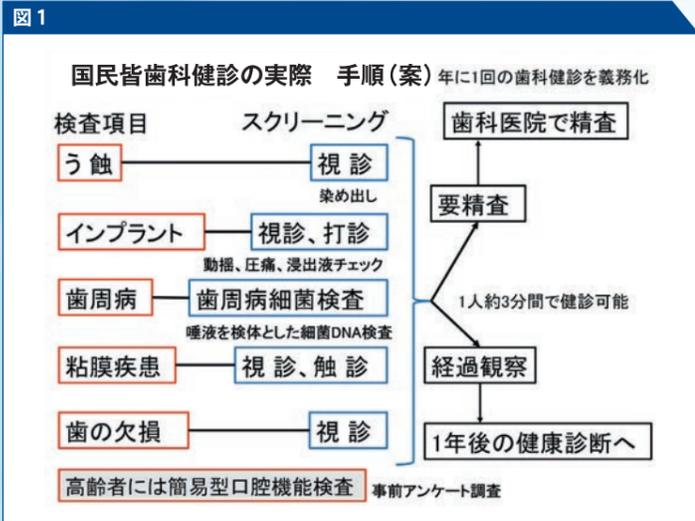
「生涯を通じた歯科健診の充実(国民皆歯科健診)」は過去5年間連続して骨太の方針に記載されてきたが、今回は「**具体的な検討**」と明記されていることから、予算の獲得や具体的方策の検討等、さらに実効性が増すものと期待されている。

しかし、今のところ、どの機関からも大きな動きは認められない。また、これまで日本歯科医師会が挙げてきた国民皆歯科健診に関する提言は極めて総論的である。各論として具体的な「予測される成果や最善の方策」は、全く示されていないのが現状である。

そこで、昨年の9月3日に行なわれた「2023年iDi歯科学会」のメインテーマは「国民皆歯科健診の有用性と将来展望」とされ、各専門領域のエキスパートから「国民皆歯科健診が我が国の将来にとっていかに有益であるか」を各専門領域(高齢者歯科、摂食嚥下、歯周病、口腔腫瘍、インプラント)別に報告いただいた。

ここでの結論は、どの分野においても国民皆歯科健診は、歯の喪失防止、口腔機能の維持・向上に極めて有用であり、健康寿命の延伸に大きく貢献することがわかった。同時に歯科医療経済においても有用であることが理解された。

さらに具体的な国民皆歯科健診の方法は「図1」のように行なうことで短時間に効率良く妥当性の高い健診手順を提言した。



本年の活動テーマの推進

～周術期の医科歯科連携の普及のために～

松本 満茂

iDi専務理事

松本 やはり医
科の先生
もお招きし
総論的に話
が進んだと
思います。



松本 病院が新たに
周術期等口腔機能管
理を実施するために
は、専用の診療室をつ
くったり、歯科医師や歯科
科の活躍が増えると思
います。

唐澤 剛

iDi理事 / 元厚生労働省保険局長 /
元内閣官房地方創生総括官

松本 もうひとつiDiがなすべき
大きなテーマとして「医科歯科連携
と周術期等口腔機能管理」の普及と
いうものが挙げられます。

松本 確かに周術期の医科歯科連
携を実施している病院は多くあり
ません。せっかくiDiがやる以上
は、増えたらいいと思
います。

矢島 安朝

iDi理事 / 東京歯科大学名誉教授

松本 本年、iDiがなすべきこと
は、まず国民皆歯科健診の実現に
向け、関係各所への働きかけや、健
診手順の策定、国民に対する情
報の提供など、諸問題を検討し様々
な提言を行なっていくことが挙げ
られます。

松本 確かに周術期の医科歯科連
携を実施している病院は多くあり
ません。せっかくiDiがやる以上
は、増えたらいいと思
います。

松尾 浩一郎

東京医科歯科大学地域・
福祉口腔機能管理学分野 教授

松本 本年、iDiがなすべきこと
は、まず国民皆歯科健診の実現に
向け、関係各所への働きかけや、健
診手順の策定、国民に対する情
報の提供など、諸問題を検討し様々
な提言を行なっていくことが挙げ
られます。

松本 確かに周術期の医科歯科連
携を実施している病院は多くあり
ません。せっかくiDiがやる以上
は、増えたらいいと思
います。



唐澤 そのような病
院マネジメントの
視点もアピールし
ていきたいですね。
周術期の医科歯科連
携を推進すれば、患者
さんの退院後の予後の改善
に大きく貢献できるということと、
経営改善にも貢献するということ
をわかっていただける
ようにしたい。

衛生士を雇用したり、相当に
先行投資が必要となりま
す。ですが、iDiが推
奨するのは、病院の周
囲にある歯科医院と連
携してやってくださいと
いうこと。そうすると先行
投資はゼロじゃないで
すか。



松本 そうですね。iDiもシンポ
ジウムの実績を重ね、提言をまとめ
て、国民皆歯科健診と同様に、
医科歯科連携の推進のた
め様々な運動を展開
していきたいと思
います。

松本 そうですね。iDiもシンポ
ジウムの実績を重ね、提言をまとめ
て、国民皆歯科健診と同様に、
医科歯科連携の推進のた
め様々な運動を展開
していきたいと思
います。



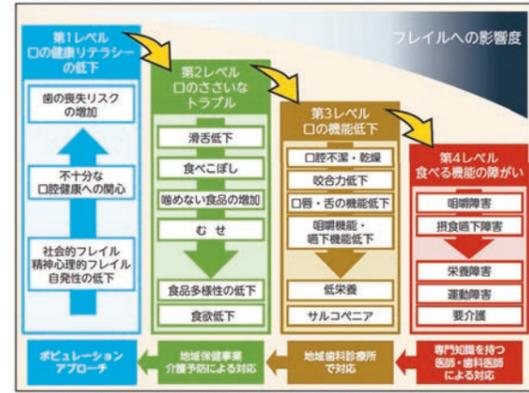
唐澤 実は周術期
の医科歯科連携を推進す
るのは簡単です。診療報酬の点数を
つけてもらえばいい。そうすれば実
施する病院は激増します。ですの
で、iDiとしても周術期の医科歯
科連携に対する有用性をしっかりと
まとめて提言を行なっていく必要が
あります。

図4

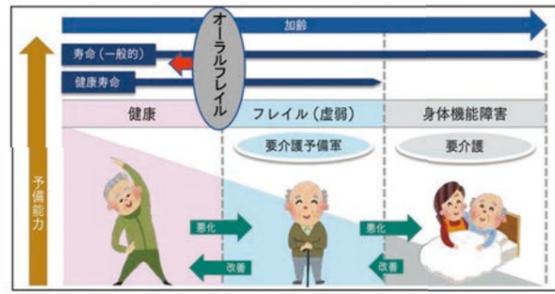
オーラルフレイルを早期に発見することで健康長寿へ

柏スタディ: オーラルフレイルに関する大規模実態調査
(千葉県柏市在住の高齢者2000人以上を対象とした45カ月間の縦断調査)

オーラルフレイル→フレイル→サルコペニア→要介護状態→死亡(柏スタディで証明)



【オーラルフレイル】 3項目以上…口の働きが“衰えている”			新規発症の危険度 (約4年経過時)	正常群	オーラルフレイル群
残っている歯が20未満	咀嚼(かむ)力が弱い	舌の力が弱い	身体 frailty	1.0	2.41倍
滑舌の低下(舌の巧みさ)	固い食品が食べづらい	むせが増えた	サルコペニア	1.0	2.13倍
			要介護認定	1.0	2.35倍
			認知リスク	1.0	2.09倍



健康寿命を75歳まで伸ばし、労働者としてすることができれば、労働人口の比率は2040年まで現在と同じ
(メディカルウォール:No303, I, 2020 横倉元日本医師会会長)

オーラルフレイル概念図2019年版 公益社団法人 日本歯科総会編 歯科診療所におけるオーラルフレイル対応マニュアル2019年版

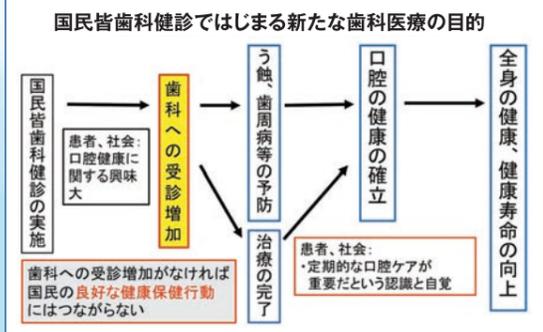
これらに対する大島事務次官からの質問・助言

- 国民皆歯科健診を実施するときの健診のための時間は、短時間であればあるほど良い。(5分以内)
- 労働安全衛生法を改定するには残念ながら長時間を要する。したがって初めに、特定の企業と協力してその会社の一般健康診断項目に歯科健診を入れ、これを国民皆歯科健診のモデルとする。ここでのデータを用いて経費、期間、有用性等の検証を行なう、いわゆるパイロットスタディを行なうことが妥当と思われる。
- 国民皆歯科健診を実施することで、どれだけの医療費、介護費等の削減が可能であるかの具体的な数値をパイロットスタディで出すことができれば、皆歯科健診の実施は一気に加速するはず。
- 現在の「歯科治療により健康寿命が延伸する」ということは事実だとしても、具体的な数値がない。さらに健康寿命が延びて寿命との差が短縮すれば医療費、介護費等は減少するであろう。しかし、健康寿命も延びて、同じだけ寿命も延びてしまえば、医療費、介護費等は変化なしとなる。つまり健康寿命と平均寿命の差が本当に短縮するのかわかっていない。これらの検証を行なうからでないと、国民皆歯科健診の実行は難しいのではないかと。

3 iDiが行なっていく活動の方向性について

iDiが国民皆歯科健診実施のために今後行なうべきことは「国民に対する情報の提供」である。つまり、国民皆歯科健診を実施することで、国民の全身の健康状態が改善し、健康寿命の延伸が可能となることを広く社会に訴える必要がある。同時に歯科医師に対しても、国民皆歯科健診により「歯科医療の目的は全身の健康と健康寿命の向上」であることを理解してもらう必要がある(図5)。さらに、大島事務次官からの提言のように「国民皆歯科健診に向けたモデルを作成しパイロットスタディのデータを取得、分析の流れ」の中で、iDiが実施可能な部分を慎重に見定めて実行していくことが、今後、iDiが行なっていく活動の方向性であると考えている。

図5



2 厚生労働省 大島一博事務次官との面会と意見交換

iDiの松本茂専務理事は、以前から国民皆歯科健診実現のために厚生労働省に何度も足を運び、局長や審議官の意見を聞いて回っていた。そこから出た結論は残念ながら「簡単には実現できそうにない」ということであった。

つまり、国民皆歯科健診に関係する厚生官僚たちの腰は完全に引けてしまっていたのである。そこで松本専務理事は、各方面から接触を続け、厚生労働省の大島一博事務次官を直接訪ねることにした。

まず大島事務次官に対し、iDiとして国民皆歯科健診の重要性を説明。その後、事務次官からのご意見を拝聴するための機会を昨年の10月に得ることができた。松本専務理事、野山顧問、矢島の3名で厚生労働省に伺い、事務次官室で約1時間にわたってお話することができた。その内容は以下のとおりである。



厚生労働省 大島一博 事務次官

iDiからは、資料を提示しながら以下の説明を行なった。

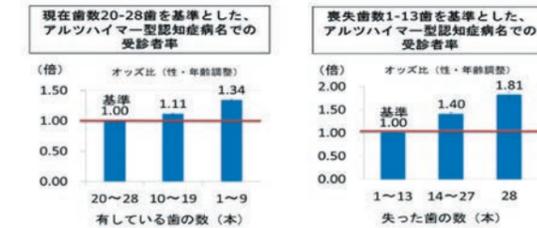
図2

歯数とアルツハイマー型認知症発症の関係

日本歯科総合研究機構(2021)

2017年 60歳以上の患者、約400万人の歯科保険請求データベース

失った歯数とアルツハイマー型認知症の治療を受けた割合を調べたところ、失った歯の数が多いほどアルツハイマー型認知症発症のリスクが高いことが明確になる。



- 歯科健診の現状:労働者年齢(20代から50代)の歯科健診率が低い
- 罹患率:う蝕、歯周病の罹患率は年齢とともに上昇
- 歯周病と全身疾患(脳梗塞、心筋梗塞、誤嚥性肺炎、心内膜炎、動脈硬化、糖尿病等)との関係が強い→歯周病を予防することで医療費の削減が可能
- 周術期等口腔機能管理実施による在院日数の削減
- 残存歯数とアルツハイマー型認知症との関係:残存歯数が少ないほどアルツハイマー型認知症リスクは高い(図2)
- 歯科治療と健康長寿との間にはすでに明確なエビデンスあり(図3)
- オーラルフレイルを早期に発見できれば、健康寿命を延ばすことが可能(図4)

図3

歯・口腔の健康と健康寿命の延伸
現時点でのエビデンスと問題を整理
各課題別文献レビューによって、エビデンスレベルを付記

- 口腔の健康と死亡に関するエビデンス
 - 歯数の保持は寿命を延伸
 - 義歯の装着による生命予後の改善は確認
 - 口歯部の咬合状態の安定者は、死亡リスクが有意に低い
- 口腔環境と要介護状態発生に関するエビデンス
 - 良好な口腔環境(義歯の使用を含む)は、将来の要介護状態の発生抑制
 - 口腔環境の悪化は、認知症発症や認知機能低下と有意に関連
- 周術期口腔機能管理と合併症発生に関するエビデンス
 - 術後合併症(術後肺炎、心臓手術後感染、臓器移植後感染等)のリスク軽減
- 口腔の健康と生活習慣病に関するエビデンス
 - 口腔ケアが高齢者の誤嚥性肺炎予防に繋がることは社会的に支持
 - 糖尿病と歯周病は密接に関連するが、「口腔環境が糖尿病の改善に寄与できる」とするにはエビデンス不足

上記のエビデンスをもとに国民皆歯科健診の実行のために以下のように提案する。

- 労働安全衛生法第66条の改定を望む:口腔健康診断を雇い入れ時健康診断および定期健康診断項目に追加する。
- これにより、働き盛りの歯科健診を毎年行なうことが可能。それ以外の国民(主婦、非正規雇用者、高齢者等)は歯科医院において毎年の口腔健康診断を実施
- 図1のような歯科健診の手順を用いると多くの項目を1人3分以内に行なうことが可能で、十分なスクリーニング機能を持つ



15台もの広々としたユニットには、それぞれに在籍する20名の歯科衛生士が配置され、治療のサポートと、患者の歯のメンテナンスをていねいに行なっている。3種類のレーザーやマイクロスコープなど最先端機器も取り揃え、様々な治療が可能だ。



敷地内には2つの「きらきら保育園」があり、25名の保育士が50名以上の園児を預かっている。おもちゃや食事前のエプロン、昼寝用の布団などを園が用意し、食事やシャワーなどお母さんが助かるサービスを提供する「手ぶら保育」を実現。さらに歯磨き指導や、歯科健診、フッ素塗布なども無料で行ない、虫歯ゼロの幼児期を目指している。

「長年、地域で歯科医院をやら

JR東山梨駅に直結といってもいい場所にある同院。その広大な土地を活かし、歯科医院と2つの保育園、60台以上の駐車場があり、2024年4月の完成を目指して地域のためのカフェや、子ども食堂も備えた、小児歯科に特化した棟を建設中である。



医療法人 輝 はやかわ歯科医院
山梨県山梨市三ヶ所787-3 ☎0553-23-4455
<http://www.hayakawa-dc.net/>

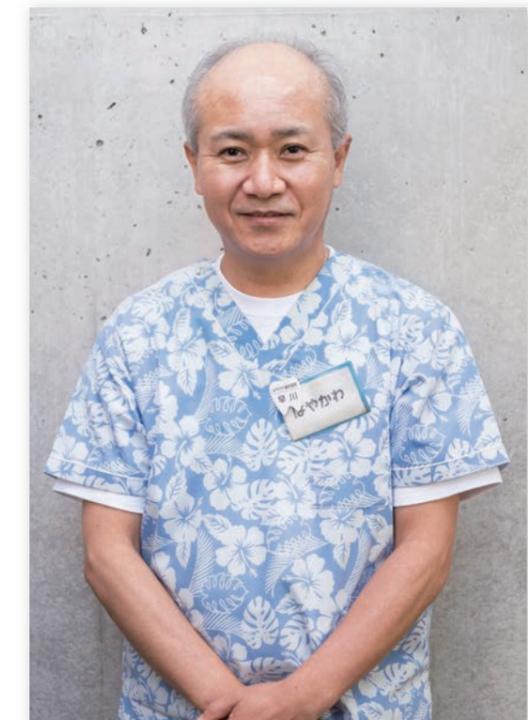
iDi認定歯科医師インタビュー

保育園の園長もこなす 社会貢献に積極的な歯科医師

医療法人 輝
はやかわ歯科医院
理事長・院長

早川 輝

山梨県・山梨市で「はやかわ歯科医院」を開業する早川 輝氏。同氏は子ども時代に通っていた地元の歯科医院への疑問から歯科医師を志す。そして自身の理想を叶えるために、多くの歯科衛生士が必要となり、スタッフのために保育園の経営も手掛けることとなった。そして、歯科医師の傍ら園長となった同氏は積極的な社会貢献も行ない、地域になくてはならない存在となった。ボランティア精神にあふれる同氏の様々な活動とその信念に迫る。



ICOI(国際口腔インプラント学会)認定医
日本顎咬合学会 認定医
日本歯周病学会 会員
きらきら保育園 園長

子ども時代の歯科医院への疑問から 自分の考える理想の歯科医師を目指す

「実家は山梨県の温泉地・石和町なのですが、子ども時代の歯科医院にはいい思い出がありません。とにかく混んでいるのでひたすら待たされる。治療に時間をかけられないように、何かあれば抜くことが多かったんです」

同氏は、幼少時よりそのような歯科のありかたに疑問を感じていたようだ。そして将来は自分が歯科医師になり、ていねいに治療してあげたいと思うようになった。その幼少時からの想いは

身を引き、同氏は歯科医師になった。

「1995年にJR東山梨駅の近くに、はやかわ歯科医院を開業しました」

同氏は、子ども時代に経験した歯科医師と真逆を目指した。患者の身になった治療のために努力を惜しまなかった。最先端の機器を取り揃え、インプラントにも早くから取り組むなど患者に寄り添ってきた結果、多くの患者の信頼を獲得するようになった。

「混雑するようになってしまいました。これでは私の子ども時代の歯科医院と変わらないと悩んでいた頃、駅前にあった大きなパチンコ店が廃業することになりました」

同氏は迷わずその土地を購入。2004年に現在の同院を建設し、新たなスタートを切った。ユニットが15台に増え、歯科医師3名の体制で患者を待たせない治療ができるようになったものの、同氏は新たな悩みを抱えることとなった。

スタッフのために保育園を開設し 園長先生としても活躍

ちょうど2016年に内閣府が「企業主導型保育」事業を開始。これは、企業が従業員のために設置する保育所で、国からの補助金で運営できるのが特長だ。同氏はこの制度を利用し、2018年に「きらきら保育園」を開園した。

「0歳から2歳までの定員12名でスタートしました。スタッフの負担を軽くしようと手ぶら保育も導入。着替えの服だけ用意してもらえば、それ以外はすべて園で用意します。汚れた服はここで洗濯して畳んでお返ししま

すし、シャワーも使いますので、夜のお迎え後は、帰って寝るだけです」

歯科衛生士は、子どもを連れて出勤し、敷地内の保育園にそのまま子どもを預ける。勤務後は、夕食も終えてシャワーも浴びた状態のお子さんを連れて帰宅するという、快適なシステムを用意したのである。しかも、無料で利用できるようにした。

「おかげで、歯科衛生士さんの定着率や復帰率の向上はもちろん、新規に応募してくださる方も

増え、現在は20名の方々に勤務してもらえるようになりました」

企業主導型保育園は「従業員枠」の他に、定員の2分の1の範囲で地域の子どもの受け入れられる「地域貢献の一環」と考え、地域のお子さんもお預かりするようになりました。歯磨きの指導や歯科健診も無料で行ない、虫歯ゼロの幼児期を目指しています

この、きらきら保育園は、地域のお母さんの評判にもなり、すぐに定員となった。そこで同氏は2021年に就学前の5歳児までを受け入れる定員42名の大型保育園「きらきら保育園Seco

そうなるので、すべてのユニットに歯科衛生士を配置するのがベストです」

週休2日制として、最低でも20人は歯科衛生士が必要だった。しかし、それだけの人数を集めるのは相当に困難である。他の歯科医院と比べて高い給料を出しても定着率が上がらず、同氏の理想は叶えられなかった。

「歯科衛生士が結婚して子どもが産まれると辞めてしまいがちで、勤務時間も長めになります。小さなお子さんを育てながらの勤務は難しいのはわかっていました」

「子ども食堂もつくる予定です。調べてみると、この地域にも家庭の事情で満足に食事が摂れない子どもがいることがわかりました。ですので、子ども食堂もつくることにしました」

同氏は、その現在建設中の建物に「子ども食堂」もつくる予定です。「調べてみると、この地域にも家庭の事情で満足に食事が摂れない子どもがいることがわかりました。ですので、子ども食堂もつくることにしました」



明るく開放的な待合室。小さなお子さんは待合室内のキッズルームの他、きらきら保育園での一時預かりも可能となっている。2003年には県内の歯科医院として初となるISO9001:2000も取得し、高い品質の歯科医療サービスを提供している。

3DCT・デジタルレントゲン、位相差顕微鏡、各種レーザー機器、ホワイトニングに使用するビヨンドボラスなど、様々な最先端治療を行なう機器を取り揃える他、リップエステやピーリングも行なえる美容機器までも完備。



バリアフリーの専用治療室も完備。広々とした室内では車椅子でも来院しやすく、専用の入り口も設けられている。



7台のユニットでは10名の歯科衛生士が徹底したPMTC(Professional Mechanical Tooth Cleaning)を行なう。歯科衛生士は「食」「運動」「癒し」の3つの概念を中心に幅広い健康の知識を持ち、健康の正しいナビゲーションができるスペシャリスト「ナチュラルバイオリスト」として、歯や口腔内の治療を通じ、全身の健康のアドバイスも行なっている。



iDi認定歯科医師インタビュー

「すたれない技術」である予防歯科を積極的に推進

医療法人 六明会
ろくごう歯科医院
理事長・院長

六郷 純也

埼玉県熊谷市にある「ろくごう歯科医院」の六郷純也氏は、20年以上前にアメリカで「歯周病は心臓病にも糖尿病にも関係が深い」という学説に触れる。その後、日進月歩の最先端技術を学びながら、「すたれない技術」としての予防歯科に目覚め、「患者さんの口と歯を守る」ことを第一義に、患者さんの健康維持に貢献し続けてきた。20年前は誰も口内環境と全身疾患の関係性を信じてくれなかったが、ようやく時代が追いついてきたと語る同氏の信念に迫る。



UCLA・歯周病・インプラント研究会
熊谷市歯科医師会副会長

最先端技術をアメリカで学び「すたれない技術」があると気づく

埼玉県熊谷市で「ろくごう歯科医院」を開業する六郷純也氏。親戚に医師が多かったこともあり、同氏は幼い頃より、父から医師への道を薦められて育った。しかし、同氏は医師になるのを躊躇

したそうだ。

「血を見るのが苦手だったんです(笑)。ですから医学部に進むと解剖実習があり、とても耐えられないと思っていました」

そこで同氏は歯学部を選択し、歯科医師を目指すことにした。

「歯学部にも解剖実習がありました(笑)。今でこそ、歯学部といえども解剖は重要だとわかりますが、なぜ歯学部で解剖がある?と驚いたのを覚えています」

同氏は必死の思いで解剖実習

をクリアし、血を見ることへの苦

手意識を克服したそうである。そして卒業後は同級生の叔父が経営していた歯科医院で7年間にわたり腕を磨いた。

「勤務していた歯科医院は先進的で、1990年代初頭にはインプラントも行なっていました」

同氏は大学時代には学べなかった様々な技術に触れ、歯科医師としてのさらなる飛躍を求め、思いを強くする。

そして、1995年に独立し開業。1998年にはじめて渡米し最先端の治療に触れること

になる。

「新しい知識や技術を学ぶことがとにかく楽しかったですね。インプラントはもちろん、最新の審美技術なども貪欲に吸収して、オールマイティに何でもできるようになろうと思いました」

同院は最新の治療が受けられる歯科医院として評判になり、多くの患者が訪れるようになった。

「開業後も毎年 UCLA やシアトルに行き、そこで学んだ新しい技術を常に治療に活かしてきました」

同氏は、時代や歯科技術の変化、進化に柔軟に対応し、常に最

適な治療を行ってきたのである。

「とにかく、歯科医療は日進月歩ですので、10年間同じ治療を続けているとその方法は古く時代遅れになってしまいます。ですから、遅れないように海外に行き続けるなど、少し強迫観念にかられていたかもしれません」

同氏はアメリカである新しい知識を学び続けた。それが同氏の歯科医師としての考え方を根本的に変えるようになったのである。日進月歩の歯科医療の中でも「すたれない技術」があると気がついたのだ。

予防歯科を愚直なまでに実行し時代が同氏に追いつく

「20年以上前のことですが、アメリカで、歯周病は心臓病にも糖尿病にも関係が深い」という学説に触れました。歯周病は細菌感染であり、その細菌が全身に影響を及ぼすというものです。はじめて聞く話でしたが、確かに「どうなずける部分も多くありました」

以来、同氏は患者に対し、歯周病や虫歯を予防することの大切さを説くようになったそう。まずは「歯を守ってあげよう」との思いを強くしたのである。

「ですが、患者さんに歯周病と心臓病の関係を話しても、誰も信じてくれません。その結果、開業当初は患者さんの定着率は悪かったですね(笑)」

同院は2009年に現在の場

所に移転。そして、さらに予防に注力するようになった。7台のユニットで10名もの歯科衛生士が各ユニットでPMTC(プロフェッショナル・メカニカル・トゥース・クリーニング)を行なうようにしたのである。

「歯周病や虫歯を治療しても、再度感染すればまた進行してしまいます。それもあって、とにかく口腔内環境を良好に保つためにPMTCを採り入れました」

同院では、初診の患者さんに対して「痛みは取る」ものの、その後すぐに本格的な治療は行なわない。まず歯科衛生士が歯石や磨き残したプラークを徹底的に取り、検査やカウンセリングを行なった後に歯周病の治療をして、その後虫歯に対応する流れである。

「患者さん主導の歯科医院ではないかもしれませんが、口内環境を整えないと意味がないと伝えて、患者さん自身が行動変容を起こしてホームケアをし

かり行ない、定期的なPMTCに通っていただくようお願いしています」

同氏の予防を重視する考えは、審美やインプラント治療にも大きく活かされている。

「様々な技術を用いて審美歯科も行なっていますが、結局、歯茎をしつかり治さないと歯茎がすぐ下がってしまい、見た目も良くなりません。インプラントも同様です」

同氏は最近になってようやく予防の重要性や、虫歯や歯周病菌と全身疾患との関係性も理解されるようになってきたと語る。

「20数年前に、誰も私の話を真剣に聞いてくれなかったのが、コツコツと言いつつ続けたことで、ようやく皆さんに伝わってきました。今では月に500本くらい歯ブラシを差し上げるほど、患者さんの口と歯を守ることができています」

同氏は、これからの時代はますます予防が重要になってくることを語る。今後、確実に増えていく医療費を少しでも削減するには歯科医師による予防が不可欠であ

り、医科歯科連携も積極的に推進していくにはいけないとの信念を持っている。

「今も海外や様々な講習会に赴き、常に進化を続ける最新技術を遅れないように吸収していますが、予防という、変わらないものを大切にしていきたいと思っています」

患者の歯を守る。それを愚直なまでに実行してきた同氏。ようやく時代が追いついてきたといってもいいだろう。これからも、同氏は予防歯科を通じて、患者さんの健康維持に貢献し続けていくに違いない。

2009年に同院を新たに建設して移転。ファサードは、東京ディズニーランドに使われているものと同じ「カルチャーストーン」を、実際にディズニーランドを施工していた人が作業してつくりあげたそう。



医療法人 六明会
ろくごう歯科医院

埼玉県熊谷市円光2-4-1 ☎048-526-6461
<https://www.rokugo-dent.com/>

iDi研修会のご案内

歯援診 か強診 在宅療養支援歯科診療に関する総合的研修会
外来環 歯初診 歯科医療安全に関する総合的研修会

会場/オンライン開催 新型コロナウイルス感染症対策のため、本研修会は現地開催、及びオンライン配信のハイブリッドWEB方式で開催します。

■会場：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター1階 東京都千代田区神田駿河台 4-6

2024 5/12日

講師:高橋 一也 大阪歯科大学 高齢者歯科学講座 教授
 講師:福田 謙一 東京歯科大学 口腔健康科学講座 教授
 講師:泉福 英信 日本大学 松戸歯学部 感染免疫学講座 教授

①在宅療養支援歯科診療に関する総合的研修会 10:00~12:00 (受付開始 9:30~) 12:00~
 ②歯科医療安全に関する総合的研修会 13:00~14:30 (外来環のみ受講 受付開始 12:30~) 14:30~
 ③歯科医療安全に関する総合的研修会 14:50~16:20 (歯初診のみ受講 受付開始 14:30~) 16:20~

■参加費用 (会場/オンライン共)	歯援診(か強診を含む)	外来環と歯初診	外来環のみ	歯初診のみ
	一般(会員以外)	30,000円	30,000円	20,000円
iDi/ISM 認定会員	5,000円	5,000円	3,000円	3,000円

※災害や講師急病等やむを得ない事情で中止となった場合、参加費の全額返還、もしくは次回開催に振替させていただきます。但し中止によって生じた、旅費、宿泊費や届出の遅れによる逸失利益など、参加者各位の損害については補償できません。ご同意のうえお申し込みください。

2 DAYS 好評につき 今年も開催! **実践講習会** あなたは誤嚥性肺炎の予防に自信がありますか? 対象:歯科医師・歯科衛生士

摂食嚥下機能を理解し、高齢者の口腔機能管理ができる歯科医師・歯科衛生士を養成します。

2024 6/9日 **事前講習及び相互実習**

●誤嚥性肺炎について
 ●摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科の役割
 ●摂食嚥下障害患者と口腔ケア ●摂食嚥下障害患者に適合する口腔内装置
 ●口腔ケアに難渋する症例 ●口腔ケア手技の実際(実習込み)
 ●多職種連携で取り組む口腔ケア ●多職種連携の仕組みづくり
 ●口腔ケアアセスメントの重要性

会場 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター1階 ROOM A

鴨田 勇司 鴨田 勇司 鴨田 勇司
 日本老年歯科医学会認定医
 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
 聖隷クリスティー大学 臨床准教授
 医療法人社団 彩雲会 松本歯科医院

大越 良夫 大越 良夫 大越 良夫
 松本歯科医院

先着20名 お申し込みはお早めに

時間(両日共) 10:00~16:00 9:30 受付開始

受講料(2日間)

歯科医師	¥60,000
歯科衛生士	¥40,000

2024 6/7日 **介護施設にて実践演習**

●多職種連携とチーム医療における歯科の役割
 ●施設患者への訓練 ●VE実習

会場 介護施設 社会福祉法人白鳩会 特別養護老人ホームさくらの里(埼玉県川口市大字 888-1)

2024 6/30日 **医科歯科連携の重要性** ~周術期等口腔機能管理について考える(仮)~

会場/オンライン開催 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター1階 ROOM A

参加費用 医師/歯科医師 10,000円 看護師/歯科衛生士/その他 5,000円

参加をご希望の方は、iDiホームぺージよりお申し込みください。 **iDi 歯科** <https://www.identali.or.jp/>

研修会についてのお問い合わせ 実践講習会についてのお申し込み **03-5842-5540**

お預かりした個人情報、本研修会の運営並びにiDiから参加者への情報提供以外の目的には使用いたしません

On the Cover [今号の表紙写真]
 日本の橋「西海橋・新西海橋」(長崎県)
 長崎県佐世保市針尾島と西海市との間にある、日本三大急潮のひとつ「伊ノ浦瀬戸」(針尾瀬戸)に架かる長さ316mのアーチ橋「西海橋」(写真奥)は、1955年に日本初の海峡横断橋として完成。2020年に国指定重要文化財(建造物)に指定された。「新西海橋」(写真手前)は2006年に完成した長さ620mのアーチ橋で、西海パールの一部となっている。同橋には遊歩道があり眼下に豪快なうず潮を見ることが出来る。

ばりろく/PIXTA

iDi info 2024冬号
 企画・発行:特定非営利活動法人 歯科医療情報推進機構
 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24-17ネクストビル403
 編集:庄司信晴(PAL)・松井英樹(PAL)
 撮影:小林伸
 デザイン:上野はじめ
 Copyright © 2024 iDi All Rights Reserved.
 ●本紙掲載記事の無断転載を禁じます。

iDi 歯科医療情報推進機構とは?

歯科医療の安全の確保と質の向上を目指し、国民の健康と福祉に寄与することを目的として2005年に設立された、**歯科医院を審査・認証する、日本初となる「第三者評価機関」**です。

理念 患者さんから「私にとって、かけがえのない歯医者さん」と呼んでもらえる歯科医院をめざして

目的

- 評価基準に基づき第三者機関として歯科医院の機能評価を公正に行なう。
- 機能評価において一定の水準を満たしていると評価・認定された歯科医院を「患者さんに選ばれる歯科医院」として情報発信する。
- 安心・安全で適切な歯科医療情報を広く国民に提供する。
- 歯科医院は、第三者に評価されることによって機能や診療、患者サービスの質を客観的に把握でき、従業員の自覚と意欲のさらなる向上を図ってもらう。

iDi 認証マーク

診療内容 Examination
 01 改善環境 Improvement Environment
 02 人的環境 Human Environment
 03 オフィス環境 Office Environment
 04 運営環境 Administration Environment
 05 管理環境 Management Environment
 06

ISM(インプラントセーフティマーク)

医療安全管理基準
 01 総合的マネジメント基準
 02 感染対策管理基準
 03 患者中心の治療基準
 04 診療の質基準
 05

「iDi認証マーク」は、安心・安全な歯科医療機関として広く国民に訴求するための標章です。
 「インプラントセーフティマーク」は、安心・安全なインプラント治療を受けられる歯科医療機関として広く国民に訴求するための標章です。

法人概要 **iDi Institute of Dental Information** 特定非営利活動法人 **歯科医療情報推進機構** <https://www.identali.or.jp>

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24-17ネクストビル403 理事長 鴨井 久一 日本歯科大学名誉教授 TEL 03-5842-5540 FAX 03-5842-5541 設立:2005年3月10日

「在宅療養支援歯科診療に関する総合的研修会」「歯科医療安全に関する総合的研修会」を開催しました。

2023年11月26日(日)、東京・御茶ノ水ソラシティにおきましてiDi研修会を現地とオンライン配信のハイブリッドで開催。オンラインということもあり、全国の多くの方々に閲覧していただきました。iDiでは、今後も様々な研修会・講習会を開催してまいります。是非、ご参加ください。

【歯援診・か強診】 「高齢者の心身の特性」「口腔機能の管理」「緊急時対応」「歯科疾患の重症化予防に資する継続管理」
 講師:森戸 光彦 鶴見大学 名誉教授

【外来環】 「偶発症に対する緊急時の対応」「医療事故に対する対策・対応」
 講師:福田 謙一 東京歯科大学 口腔健康科学講座 教授

【歯初診】 「歯科外来診療の院内感染防止対策」
 講師:泉福 英信 日本大学松戸歯学部 感染免疫学講座 教授

ジーシー昭和薬品は 歯科用局所麻酔薬に関する情報を 提供しています。

ORA DENTAL TOPICS

- No.30** 歯科処置中に局所麻酔をしたのに、患者さんが、途中で痛みを感じて我慢できない～局所麻酔薬が効かない理由と対応策～
長崎大学生命医科学域 医療科学専攻 歯科麻酔学 教授 鮎瀬 卓郎先生
- No.29** 歯科用局所麻酔薬の種類と使い分け
昭和大学歯学部 全身管理歯科学講座 歯科麻酔学部門 教授 飯島 毅彦先生
- No.28** 亜酸化窒素(笑気)吸入鎮静法
北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野 歯科麻酔学教室 教授 藤澤 俊明先生
- No.27** 循環系合併症を有する患者の歯科治療
徳島大学大学院 医歯薬学研究部 歯科麻酔科学分野 教授 北畑 洋先生
- No.26** 小児患者の緊急対応
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学講座 准教授 山口 秀紀先生
- No.25** 伝達麻酔なんて怖くない!
日本歯科大学 生命歯学部 歯科麻酔学講座 教授 砂田 勝久先生
- No.24** 世界の歯科局所麻酔事情
東京歯科大学 歯科麻酔学講座 教授 一戸 達也先生
- No.23** アドレナリン含有リドカイン塩酸塩製剤の併用注意薬を服用する患者への対処
松本歯科大学 歯科麻酔学講座 教授 澁谷 徹先生
- No.22** 抗血栓薬服薬患者の歯科診療室における知的局所麻酔管理
北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系 歯科麻酔科学分野 工藤 勝先生 大桶 華子先生 三浦 美英先生
- No.21** 局所麻酔に起因するトラブルの対処法
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 麻酔・生体管理学分野 教授 深山 治久先生
- No.20** 歯科治療時の疼痛管理と術後鎮痛
日本歯科大学 新潟生命歯学部 歯科麻酔学講座 教授 佐野 公人先生
- No.19** 糖尿病と歯科治療
埼玉医科大学 医学部 臨床医学部門 麻酔科 教授 長坂 浩先生
- No.18** 呼吸器疾患を有する患者への対応
福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 麻酔管理学分野 教授 谷口 省吾先生
- No.17** 高齢者に対する歯科用局所麻酔剤の注意点
神奈川歯科大学 生体管理医学講座 麻酔科学 教授 吉田 和市先生 准教授 有坂 博史先生
- No.16** 妊婦・授乳婦への歯科局所麻酔薬投与について
愛知学院大学 歯学部 麻酔学講座 金澤 真悠子先生 原田 純先生
- No.15** 局所麻酔の合併症～びらんと潰瘍
鶴見大学 歯学部 歯科麻酔学教室 深山 治久先生
- No.14** 「私は麻酔の注射でアレルギーが出たことがあります…」と、患者が言った。さあ、どうしよう。
東京歯科大学 歯科麻酔学講座 一戸 達也先生
- No.13** 歯科用リドカインカートリッジに含まれる添加剤について
神奈川歯科大学 麻酔学教室 教授 吉田 和市先生 講師 有坂 博史先生
- No.12** 合併症を有する患者への対応part.2
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学教室 教授 澁谷 徹先生
- No.11** 合併症を有する患者への対応part.1
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学教室 教授 澁谷 徹先生
- No.10** 患者急変時何をすべきか、歯科診療室における初期救急!
日本歯科大学 新潟歯学部 歯科麻酔学講座 教授 附属病院 歯科麻酔科長 附属病院 障害者歯科センター長 佐野 公人先生
- No.09** 小児歯科医療現場での危機管理
松本こども歯科クリニック 院長(福岡県前原市) 九州大学歯学部 臨床助教授 松本 敏秀先生
- No.08** 小児に対する歯科局所麻酔について考える
日本大学 歯学部 歯科麻酔学教室 見崎 徹先生
- No.07** さらに安全な局所麻酔薬を求めて
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学教室 教授 澁谷 徹先生
- No.06** 痛くない局所麻酔
日本歯科大学 歯学部 歯科麻酔学講座 助教授 附属病院 多目的診療科長 高橋 誠治先生
- No.05** 局所麻酔による全身的偶発症～その予防と処置
東京女子医科大学 歯科口腔外科 教授 扇内 秀樹先生
- No.04** 局所麻酔による全身的偶発症
保土ヶ谷歯科医師会 伊藤 洋一先生 金子 守男先生
- No.03** 見直される局所麻酔と将来展望
日本歯科大学 歯学部 歯科麻酔学教室 高橋 誠治先生
- No.02** 臨床に役立つ局所麻酔の話
鶴見大学 歯学部 歯科麻酔学教室 野口 いつみ先生
- No.01** 保存治療における注射部位とオーラ注の使用について
日本大学 歯学部 保存学教室 歯内療法学講座 斎藤 毅先生 塩野 真先生
拔牙のための局所麻酔法
昭和大学 歯学部 第一口腔外科学教室 道 健一先生 松井 義郎先生

資料請求先



株式会社 ジーシー昭和薬品

TEL:0120-648-914

(受付時間)9:00~17:30(土・日・祝日・弊社休日を除く)

歯科用局所麻酔剤

劇薬、処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

オーラ®注歯科用カートリッジ 1.0mL・1.8mL

リドカイン塩酸塩・アドレナリン酒石酸水素塩注射剤

薬価基準収載

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元



株式会社 ジーシー昭和薬品

東京都板橋区蓮沼町76番1号



私たちは新たな付加価値を創造し、
モノにもう一度「命」を吹き込む会社です。

Make things regenerate.

We create and add extra values, in order to breathe “life” into matters once again.

Recycle 貴金属分析・精錬

自社工場にて高精度な分析精錬を行い、使用済の貴金属を1gたりとも無駄にする事なく回収いたします。回収した貴金属はインゴットとしてだけでなく、歯科用合金「キャストマスター」や、貴金属粘土「アートクレイシルバ-」としても生まれ変わります。

Clean 産業廃棄物適正処理

第三者評価機関として都が指定した公益財団法人東京都環境公社より、優良品基準適合の認定(産廃エキスパート)を取得しております。全国の事業所につきましても同様の基準で産業廃棄物を適正処理する体制を構築しております。

Support 歯科研修会場 DHA

歯科医師・技工士・衛生士の皆様の学術活動にお役に立つことを第一義とし、個人・スタディグループ・学会等、主催を問わず会議・講習会・実習会など多目的に有効利用してください。



- ◆ISO9001認証取得
- ◆ISO14001認証取得
- ◆LPPM認証取得
- ◆JAPHIC認証取得

AS 相田化学工業株式会社

歯科営業部

〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2

TEL:042-366-1201 FAX:042-366-3101

札幌・仙台・新潟・郡山・埼玉・千葉・神奈川・東京・甲府
長野・静岡・名古屋・大阪・広島・香川・福岡・鹿児島

